

林業技術センター
普及班便り
(第70回)

いわての 林業人49

毎年、岩手県林業改良普及協会では、「地域林業促進活動褒賞事業」として、地域の林業生産活動の活性化等に功績のあった個人や団体へ感謝状を授与しています。
今年度表彰された2名の方をご紹介します。



三上 孫民氏

岩泉町
森林整備促進

【地域の森林整備促進に貢献】

所有する山林の整備と併せて地域の森林整備活動を一層促進するため、平成26年度に活動組織「岩泉育林会」を立ち上げ、林野庁の交付金事業である「森林・山村多面的機能

発揮対策事業」を活用し森林整備に取り組んでいます。

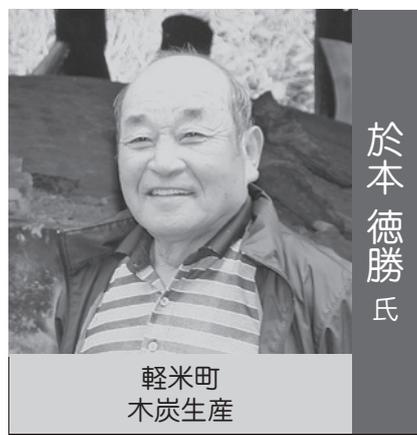
更には、三上氏が地域の森林所有者に対し、事業のメリットや実践のノウハウをアドバイスしたことがきっかけで複数の組織が事業の実施に至り、令和元年度現在で岩泉町における当該交付金事業の実施団体数は県内で最多となっています。



【地域の森林・林業振興のアドバイザー】

昭和41年から平成14年3月まで岩泉町森林組合に勤務し、地域の森林・林業に精通していることから、森林・林業に関するアドバイザーとして、地域の活性化や森林所有者の林業経

営意欲の高揚につながる活動を行っています。



於本 徳勝氏

軽米町
木炭生産

【木炭生産の取組】

昭和38年に家業の製炭業に従事し、原木の調達から、製炭・出荷まで一貫した生産を行い、熟練の技を磨き、良質な木炭生産や技術伝承に努めています。

現在は、3基の製炭窯により、年間黒炭約40ト、木酢液約25千リットルを安定的に生産し、(一社)岩手県木炭協会を通じて出荷しています。

【産地振興の取組】

木炭産業の活性化と担い手育成を目的とする「軽米町白煙会」の会長就任(平成21年)を契機に、町内交流施設に設置した体験用製炭窯で、

地元小学生の炭焼き体験を開始し、製炭産業の理解醸成にご貢献されています。

また、平成23年に軽米町木炭生産組合の理事に就任したほか、平成24年には、県北地域の生産者が中心となって立ち上げた「北いわて木炭生産振興協議会」の理事となり、地域の生産者と一体となって木炭産業の振興にご尽力されています。



長年の地道なご功績が認められ、表彰の栄に輝かれたお二方に深甚なる敬意を表する次第です。今後の更なるご活躍をお祈りいたします。

林業技術センター普及班

019(698)1337